

大麦の出穂予想と 今後の管理

長岡農業普及指導センター
麦作情報No. 3

代表電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

今後管理とポイント

- ・ 止葉抽出期追肥を施用しましょう！
- ・ 赤カビ防除を適期に必ず2回実施しましょう（出穂期の最終確認はほ場で）

1 生育状況

- 今年の根雪期間は78日間と過去10年の平均より19日長くなりました。
- 管内の莖立期は、消雪が遅かったため4月6日（前年差 +10日、平年差 +10日）となり、平年よりも生育は遅く推移しています。止葉抽出期は管内平均4月16日頃（平年差 +5日）と予想されます。
- 寺泊・出雲崎地域では、すでに止葉抽出期を迎えているほ場が多く見られます。まだ止葉抽出期追肥を実施していないほ場では、早急に追肥しましょう。

2 止葉抽出期・出穂期予想

地域	止葉抽出期	出穂期（予想）
長岡・三島	4月18日～4月20日	4月30日～5月2日頃
寺泊・出雲崎※	4月8日～15日	4月25日～4月28日頃

※今後の気象により、出穂期が前後する可能性があります。

※寺泊・出雲崎は、生育のばらつきが大きいので、ほ場毎に生育を確認しましょう。

3 赤かび病防除の徹底（適期の2回防除を必ず実施！）

(1) 感染・発生

- ・ 開花期から乳熟期に感染し、収量や品質を低下させる。
- ・ 症状等は穂の病斑部に淡紅色のカビを生ずる。
- ・ 出穂期～乳熟期に雨が多い高温年に多発する。

【赤かび被害粒の基準】

食用麦の農産物検査基準(規格)では、赤かび粒の混入限度は0.0%。

⇒ 10,000粒に5粒赤かび粒があると規格外になります。

赤カビ防除効果においては、1回目の防除が全体の約7割の効果を発揮する。

(2) 防除時期（被害粒の発生を抑制するため、適期の2回防除が重要!）

- ・ 防除適期：1回目 ⇒ 開花始めから開花期（出穂期の4～7日後頃）

※ 出穂期は、全茎の40～50%が出穂した日

※ 開花を始めた時（開花始め）から全ての花が咲き終わるまでに1週間ほどかかる。

2回目 ⇒ 1回目の7～10日後

※ 防除は適期を逃さないことが重要であり、防除適期に降雨が多い場合であっても晴れ間を利用して、確実に防除を実施する。